飯山市景観審議会 会議概要

1 会議名	第3回飯山市景観審議会
2 日時	平成30年3月15日(木) 15:30~17:00
3 会場	飯山市役所
4 出席者	齋藤委員、千坂委員、手塚委員、高橋委員、佐藤正行委員 倉科委員、清水委員、金子委員、月岡委員 : 欠席) 佐藤稔委員、江口委員、松永委員
5 市側出席者	(事務局) 建設水道部長兼まちづくり課長、 まちづくり課長補佐兼まち並整備係長、 まち並整備係2名
6 その他出席者	なし
7 傍聴者	なし
8 報道関係者	なし
9 会議概要作成年月日	平成30年3月16日

進行：建設水道部長兼まちづくり課長

1 開会

(部長)

皆様には大変お忙しい中、飯山市景観審議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。只今から第3回飯山市景観審議会を開会します。本日進行を務めます建設水道部長の山崎ですがよろしくお願ひします。

はじめに、本日の審議会は、公開とし、後日、市のホームページで議事録の公開をいたします。議事録作成のために録音させていただきますがよろしくお願ひします。

傍聴席を用意しましたが傍聴者はいませんのでよろしくお願ひします。

2 委嘱書の交付

(部長)

任期は平成29年2月から2年と定められており、本日は変更のあった4名の方に交付します。なお任期は前任者の残任期間となります。市長が委嘱書を交付します。お一人ずつお名前をお呼びいたしますのでその場でお受け取り頂きますようにお願ひします。

(市長より委嘱書の交付)

3 市長あいさつ

(部長)

それでは、開会にあたり、足立市長よりごあいさつを申し上げます。

(市長)

皆様ご苦勞様です。平成29年度末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。また齋藤先生には東京からおいでいただきまして、ありがとうございます。飯山市では平成26年から景観計画をもとに景観行政を推進して参りました。平成27年には瑞穂地区の小菅集落が国の文化的景観に指定されているところでございます。

飯山市の景観行政を進めていくうえでの様々な審議事項があります。飯山市景観重要建造物の指定として飯山復活教会があります。その他の部分で太陽光発電施設設置ガイドラインの協議をいただきたい。また景観形成住民協定については広小路界限での新たな協定についてご報告をさせていただきます。

大変お忙しいところですが審議につきましてよろしく願いいたします。

(部長)

会議の成立についてご報告いたします。

本日、佐藤稔委員、江口委員、松永委員から欠席の連絡を頂いております。現在の出席委員は12名中、9名でございます。過半数以上の出席をいただいておりますので飯山市景観条例の規定により、本会議が成立していることをご報告申し上げます。

4 会長あいさつ

(会長)

今だかつて飯山駅のイメージが以前のもままでありまして、新幹線駅に降り立って修正するという状態で、駅にもう少し雪があるかと思っていた。非常に暖かく春が近いと感じられた。市役所には飯山高校スキー部2連覇の横断幕が掲げられて、雪国なんだと通感しました。これからの議題について話そうとしましたが、市長よりありましたのでこれくらいにして審議、協議をよろしく願います。どうもありがとうございました。

～市長退席～

自己紹介

(部長)

それでは、今回委員大分変られましたので、委員の皆さんお一人ずつ自己紹介をお願いしたいと思います。

(委員より自己紹介をいただいた)

5 景観審議会について

(部長)

それでは続きまして、景観計画、景観審議会の概要について事務局よりご説明をさせていただきます。

(事務局)

景観計画、景観審議会について概要説明

(部長)

それでは、議事にはいりたいと思います。会議の議長は市条例により会長が議長となることになっておりますので、齋藤会長より議事進行をお願いします。

6 議案審議

議第1号 飯山市景観重要建造物指定に伴う意見聴取について

(会長)

それでは、議第1号 飯山市景観重要建造物指定に伴う意見聴取についてですが、市長より諮問を受けておりますので審議し答申することになります。資料の確認から事務局よりご説明をお願いします。

(事務局)

配布資料の確認及び議案の説明

(会長)

所有者の同意があるとの話であるのでわたしどもは賛同するのか、意見をつけるのか指定について市長に答申していく。建物自体皆様よく御存じであると思うが、委員の皆さんからお考えがあればいただきたいと思いますのでご発言をお願いします。

(委員)

2つあるが、1つめは市内の景観重要建造物の主なものを教えてもらいたい。2つめは所有者、占有者は適切な管理ができるような組織であるか確認したい。

(事務局)

1つめのものについて景観重要建造物の指定については飯山市初となります。2つめは本部は名古屋にある日本聖公会中部教区が飯山復活教会の所有者、占有者となります。信者の方を通じて同意、管理がされます。国の登録有形文化財の指定の際にも話があったように同様の管理がされると考えています。

(委員)

飯山市内初であるということであるが、お寺についてはなぜ指定されていないのか。

(事務局)

今回は広小路会議のまちづくりの中の機運が高まって指定の動きになった。今後指定は考えられる。

(委員)

申請が無かったということか。

(事務局)

まだなじみが薄いと考える。景観上必要なものであれば今後考えていくことになる。

(委員)

対象は建物だけということになるのか。

(事務局)

建造物とのことであるので建物だけである。

(委員)

建物だけでなく周りの外構もきちんときれいな風景にすることは大事と考える。

(委員)

建物内部の修理、文化的に価値のある物は補助対象となるのか。

(事務局)

補助要件の保存整備に関わるものは補助対象となると考えている。

(会長)

建造物としての指定について、外構や内部は指定外であり、補助金の対象は正当な維持管理がされた建物表面であり、外構や中身は対象外となる。守っていくには別途仕組みや工夫が必要と考える。所有者、信者の活動をバックアップしていくことも必要。

(会長)

指定についてご異議のある方はいますか。

異議なし

(会長)

それでは指定について異議なしとして市長に答申したい。ただし付記意見として第1号であるため他の建物について今後の動向をみていくことや周辺の管理についても考慮することを加えたい。

7 その他

(会長)

飯山市太陽光発電施設設置ガイドライン案について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

協議事項としてガイドライン案の説明

(会長)

現代的な問題であるが、事前に対処しておきたいとの考えである。ご意見を伺いたい。

(委員)

隣接住民等の定義はどうなっているのか。

(事務局)

計画区域に隣接する土地及び家屋の所有者並びに居住者並びに計画区域が所在する行政区の区長と定義されている。

(会長)

このことについて審議会を何度か開くのか。今後のスケジュールは。

(事務局)

本日意見を頂く中で、再度検討して市で決定していきたい。

(会長)

審議会で意見をしたり、検討するのは本日限りか。

(事務局)

本日意見を頂きたいと考えている。

(会長)

結構乱暴なところがある。今日のはじめて出されて2～30分で意見を聞いてでは。意見は聞くけど審議会には決定権は無いのか。

(委員)

市が決定していくことになる。意見は重く受け止めていきたい。

(会長)

これは見逃せないということなど挙げてもらいたい。

(委員)

モジュール築造面積は間があいたら別物という考え方か。

(事務局)

一団の土地として合計で考えることになる。

(委員)

モジュール水平投影面積では、外壁に張り付けるものは対象外になってしまうのでは。

(事務局)

モジュール水平投影面積は景観計画の大規模太陽光発電施設の考えと整合をとっている。景観協議会の中で水平投影面積という話が出たもので意見があればお伺いしたい。

(会長)

景観協議会でどのような話になったのですか。他の委員に振ったが意見なし

(委員)

300㎡というのはパネル面積の総和なのか。

(事務局)

パネル面積の総和です。

(委員)

パネルの面積の考え方は景観届と同様の考え方であるので、水平投影面積で良いと考える。

(委員)

300㎡以下にする為に妙な形にされるのも景観としてはふさわしくないし、パネルが光に向かって移動する物もある。ガイドラインとしてフォローが必要ではないか。本審議会に命令権はないため意見としていきたい。

(事務局)

懸念事項をいただいたので反映するところはして、ガイドラインとして発動していきたい。また今後の機会にもご意見を伺っていきたい。

(委員)

事務手続きとして必要なものはありますか。

(事務局)

景観届として20㎡を超えるものは提出して頂くことになっている。その際ガイドラインの適合審査を兼ねて行うこととなる。

また国のガイドラインには各自治体のガイドラインに対する努力義務がうたわれているので実効性があると考えている。

(会長)

ガイドラインの目的に持続可能エネルギーとしてトラブルのないように導入していこうというもの、うまい形で導入しようというもの、景観的にダメージを少なくするという考え方でレッドエリアとイエローエリアの色分けについてはっきりわかっているのか。

(事務局)

色分けして落としたものは無い。申請があったら調べていくとの考え方。

(委員)

都市計画図のように色分けしたものがあればよい

(事務局)

展望できる範囲というものもあるので、難しいができるものは色分けしたものを作成したい。

(委員)

小菅はほとんどレッドエリアになると思うが、屋根の形も変えられない、雪割りも作れないといった住みづらい状況となっている。既に架台のある太陽光パネルが一軒ある。景観的に見えないようにしなければならぬのか。撤去しろというわけにはいかないと思うが。

(事務局)

大規模発電施設では無いので心配はないかと考える。

(委員)

パネルの水平投影面積の件だが、景観上として考えるのなら、水平投影面積でなくパネル設置面積として考えた方がよい。

(委員)

レッドエリアは300㎡以下でも設置が適当ではないのでは。

(事務局)

売電を目的にした300㎡以上のものをガイドライン内では対象としている。屋根に置くも

のなども対象外である。

(委員)

イエローエリアで299㎡なら許可せざるを得ないということか。

(事務局)

ガイドラインは許可不許可をするものではない。景観条例で考える事柄と思う。

(会長)

ガイドライン対象外であっても他の法律によって設置ができないものもある。誘導していこうという前提のもの。大規模なものは影響が大きいと考え協力してもらおう。しかし飯山市はデリケートな景観であるので小さなものも考えなければ取り返しのつかない事態も想定できる。ガイドラインはこのような形として、小規模に対しても違う仕組みも検討してもらおうが良いのでは。今後様子を見守っていきたい。

(会長)

それでは報告事項の景観形成住民協定の認定について事務局からお願いします。

(事務局)

報告事項として広小路界限まちづくり協定の説明

(会長)

報告事項ですので質問があればよろしくお願いします。

(委員)

同意がされていない、または内容の知らない所有者にはどのような形で周知するのか。同意していない方にも効力が及ぶし、新しく権利をもたれる方にもどのように周知するのか。

(事務局)

いいやま広小路会議の皆さんが一軒一軒回っていると聞いている。協定の認定がされれば郵送なりで周知するとの事。また景観届の提出の際には景観形成住民協定地区としてお知らせすることになる。

(委員)

オトギの仲町通りの名称は現在も使っているのか。

(委員)

現在は使っていないのでは。

(委員)

いいやま広小路会議の代表者とすでに景観形成住民協定地区となっているところは。

(事務局)

代表者は田中屋酒造店さんです。景観形成住民協定地区は愛宕町、北町・田町の一部、松倉、五荷、瀬木、小菅です。

(会長)

そのほかなければ事務局お願いします。

(部長)

ありがとうございました。齋藤会長のスムーズな議事進行によりまして無事終了いたしました。また委員の皆様におかれましては、高い見識から様々な意見を頂きました。意見をしっかりと受け止めまして、お認め頂きました議案を進めてまいりたいと思います。

(部長)

その他でございますが、事務局より説明いたします。

(事務局)

・報酬について説明

(部長)

事務局からは以上ですが、皆様から何かご発言がありましたらお願いします。

8 閉 会

(部長)

ないようですので、以上をもちまして第3回飯山市景観審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。